

品川区教育委員会会議記録

平成 26 年 第 1 回 定例会

場 所 教育委員室

期 日 平成 26 年 1 月 14 日

開 会 午後 2 時 00 分

閉 会 午後 3 時 40 分

出席委員	委 員 長	鈴木 敏夫
	委員長職務代理者	市川 信之助
	委 員	安尾 久子
	委 員	波多野 美佳
	教 育 長	中島 豊
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	田村 信二
	庶 務 課 長	齋藤 信彦
	学 務 課 長	和氣 正典
	指 導 課 長	渋谷 正宏
	品川図書館長	中元 康子

<p>議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 署名委員に市川委員、安尾委員を指名。 ・ 日程第1 第1号議案および日程第3 報告事項3「都費教職員の任免等に関する内申について（勸奨退職・休職）」は品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。
---	---

<p>件名</p>	<p>日程第1 第1号議案 都費教職員の任免等に関する内申について（勸奨退職）</p>
<p>担当課説明等</p>	
<p>委員質疑要旨</p>	
<p>事務局説明</p>	
<p>委員意見要旨</p>	
<p>議事結果</p>	<p>品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。</p>

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 教育委員会事務事業の点検および評価について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(庶務課長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員E) ・ いじめ等の問題について、スクールカウンセラーやHEARTS（品川学校支援チーム）等が得た児童・生徒の情報やカルテ等は、どこに保存しているのか。</p> <p>(委員D) ・ いじめ等の問題について、児童・生徒の情報は、学校現場では共有できているのか。 ・ 教育センターに常勤職を配置することは可能なのか。</p> <p>(委員A) ・ マイスクール八潮の教育環境の充実のため、今後、どのようなことが必要と考えるか。</p> <p>(委員D) ・ オリンピック・パラリンピックの開催に向け、語学力をつける取組みは非常に良いと感じる。一方、東京都の体力は全国的にも低いレベルにあるが、今後、教育委員会事務局としてはどうしていくのか。</p> <p>(委員E) ・ 家庭の教育力の向上については、どのような方法で実施していくのか。例えば、若い世代は、情報機器を利用する機会が多いため、メールマガジン等の配信などをしてはどうか。また、家庭の教育力の向上について、保護者と一緒に考えていくような取組みを検討してほしい。</p> <p>(委員B) ・ 教材教具の充実として、品川区はICT機器を利用した授業が全国的に比べると遅れていると感じる。今後、ICT機器をどのように活用していくのか。 ・ 学力向上プラン推進事業（勉強合宿）について、日野学園以外の学校で実施する予定はあるのか。また、評価結果はA（拡充）となっているが、普及していないのは、予算や学校の実施能力が原因なのか。 ・ 学力向上プラン推進事業（勉強合宿）について、区が大学と連携して大学生を指導者として確保することはできないのか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(統括指導主事) ・ 教育相談やいじめ等に関する児童・生徒の情報やカルテ等は、教育相談センターで受けた相談に関するカルテは教育センターに、HEARTS（品川学校支援チーム）の活動によるいじめ等の相談に関するカルテは指導課に保存してある。今後は情報の共有化が効率的に図れるよう、保管場所を一元化していくことが課題である。 ・ 学校現場での情報共有については、学校担当指導主事が中心となって進めているところである。また、個別のケースによっては、HEARTS（品川学校支援チーム）のカウンセラーが教育相談センターへ出向いて情報の共有化を図っている。</p> <p>(教育次長) ・ 教育センターについては、昨年度、教育委員会でも視察を行った。学</p>

識経験者からの意見にもあるように、教育センター、マイスクール八潮、HEARTS（品川学校支援チーム）、学校現場等が様々な情報を常時共有できる体制を整備していくことが理想であると考えます。しかし、個人情報保護や守秘義務の関係から、ケースによっては目的外利用になる恐れもあり、現実的には難しい。教育センターでの諸問題に迅速に対応するため、指導課等の一部を教育センターに配置することも可能だが、管理職の配置については、区議会等への対応もあり非常に困難なため、別途、教育センターに責任のある職の配置を考えなければならない。教育センターへの常勤職配置等の課題については、今後、検討組織を立ち上げて議論していく予定である。現在、指導課には9名の指導主事が在籍しているが、教育センターへの配置に向け、どういった割り振りをしていくかなどが課題となる。また、特別支援教育係についての位置づけも検討していかなければならない。今後は、情報共有の一元化および教育センターやHEARTS（品川学校支援チーム）等との連携、教育センターのあり方などについて、体制を整備していく必要がある。

- ・ マイスクール八潮については、組織上、指導課－教育センター－マイスクール八潮となっている。マイスクール八潮は、不登校となっている児童・生徒が在籍校に復帰することを目的として取り組んでいるが、現状は、復帰後も何ヵ月かするとマイスクール八潮に戻ってきてしまっており、現場の指導員も悩んでいる。小・中学校の義務教育期間は、不登校の児童・生徒の対応をマイスクール八潮で可能であるが、高校に進学するとマイスクール八潮と同じような組織はないため、できる限り普通級に復帰してもらいたいと考えている。現在、専任の指導員には長期に渡り務めていただいているため、今後、後任となる指導員の確保をしていかなければならない。また、教育相談機能についても、現在の八潮地区だけでいいのか、例えば、荏原地区や大崎地区なども視野に入れ、連携の方法等を含めて検討していかなければならないと考える。

（指導課長）

- ・ 品川区の教育改革の中で、「知・徳・体」における「体」の部分の指導が若干弱かったと感じている。特に、東京都は「体」が全国的にも低いレベルにあるため、現在は、各学校において「一校一取り組み」として、教育課程の中にオリジナルの体力向上策を入れるよう施策を展開している。また、区長部局の文化スポーツ振興課とも連携を積極的に図り、体力向上につなげていきたい。

（教育次長）

- ・ 区長部局に新規に企画財政課、文化スポーツ振興課の課長がオリンピック・パラリンピック調整担当課長、推進担当課長として兼務発令がなされた。学校の体育等については教育委員会が所管となるが、地区とのスポーツ事業等は区長部局の所管となる。体力については、大人が指示して行うものではなく、子ども自身が率先して意識を持って体を動かしていかないと伸びていかないと考える。体力向上については、教育の課題としても議論していきたい。
- ・ 家庭の教育力の向上については、行政が関与するものではなく、本来、家庭の中で取り組んでいただきたいと考えている。今後、検討組織の立ち上げを考えており、施策開始当初は、子どもの成長段階に合わせた親の関わり方と家庭での教育力（しつけ）の必要性の有無を自覚するきっかけづくりのチェックシート等を活用していきたいと考えている。また、親と子のルールづくりやICT機器についてもアドバイスできるようなものにしていきたい。

（学務課長）

- ・ ICT機器については、授業がICT機器に依存してしまうことも懸念し導入を見送っていたため、品川区は遅れている傾向がある。区長からもICT機器を活用していくよう指示があり、来年度以降は積極的に整備していく予定である。平成26年度は、タブレットPCの導入など積極的に予算要望を行った。

（教育次長）

	<ul style="list-style-type: none"> 区内に46校の小・中学校がある中、ICT機器の導入については、校長によって温度差がある。校長によって積極的に導入すべきという意見があれば、一方で、ICT機器の導入以前にやるべきことがあるという意見もある。例えば、タブレットPCを1人1台配布したとしても学力が必ずしも向上するわけではない。導入についてはツールのひとつとして考えている。また、ICT機器を操作できる教員がいるうちは良いが、異動等で操作ができる教員がいなくなると宝の持ち腐れとなることもあり得る。このような状況に陥らないよう、体制を整備し有効活用できるようにしていきたい。 <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上プラン推進事業(勉強合宿)については、拡充していく考えではあるが、合宿形式のため、指導者の確保や宿泊施設の確保が困難な状況であり課題となっている。 <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上プラン推進事業(勉強合宿)について、区が大学と連携することは可能である。所管が変更となったが、すまいるスクールは、大学と連携して事業を行っていた。仮に区が大学と連携する際は、宿泊日等が限定されてしまうため、区内の大学のみでなく、区外の大学との連携も考えられる。勉強合宿を実施する学校は、今後、拡充する方向で検討しているが、一番の課題は教職員の体制であると考え。学校によっては、教員が教科を担当していると授業の調整が非常に大変であり、特に小規模校にとっては、教科担任が不在となるケースが発生することもある。
委員意見要旨	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ等の問題について、HEARTS拡大会議に参加させてもらったことがあり、様々な問題や解決に向けて積極的に取り組んでいると感じた。しかし、スクールカウンセラーやHEARTS(品川学校支援チーム)、教育センター等との連携が円滑でない部分もあるため、今後、個人情報にも留意しつつ、情報共有ができる仕組みづくりを構築していく必要がある。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学識経験者からの意見にもあるように、教育相談機能等は、外部から見ても何を行っているのかわかりにくいところがある。スクールカウンセラーやHEARTS(品川学校支援チーム)等のメンバーを教育センターに配置するなどして、透明性の確保をする工夫が必要であると考え。また、教育センターを統率するような管理職の配置を行うことで、指導課とのパイプを繋ぐ役割が期待できると考える。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭の教育力の向上については、様々な問題があると考え。教育の現場では、上から教えることや指示することが多いため、このような姿勢であると保護者から受け入れてもらえない可能性がある。保護者と同じ目線に立って、一緒に家庭の教育力について考えるような取り組みが必要である。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上プラン推進事業(勉強合宿)について、日野学園の取り組み内容をホームページで確認した。非常に良い取り組みだと感じるので他校も積極的に取り組んでほしい。
議事結果	了承

<p>件名</p>	<p>日程第3 報告事項1 平成26年度新入学の学校選択希望理由調査結果について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(学務課長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員A) ・ 小学校の入学希望理由の一番が「学校の教育活動に魅力がある」となっているが、これは各学校が差別化を図るために努力している成果と考えてよいか。</p> <p>(委員D) ・ 小学校の入学希望理由の一番が「学校の教育活動に魅力がある」となったのは、初めてのことか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(学務課長) ・ 小学校の入学希望理由の一番が「学校の教育活動に魅力がある」になったことについては、各学校の努力の成果の表れだ考える。学校により、英語活動や補習授業に力を入れるなどしており、保護者から学校が評価されてきていると感じる。 ・ 小学校の入学希望理由の一番が「学校の教育活動に魅力がある」となったのは、初めてのことである。</p> <p>(教育次長) ・ 今回の保護者へのアンケート結果は、選択希望理由を「複数回答」にしたことも要因のひとつと考える。また、アンケートの質問順についてもここ数年同様のため、質問を入れ替えて統計をとっていくことも必要であるとする。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員C) ・ 今回、小学校の入学希望理由の一番が「学校の教育活動に魅力がある」となったが、次点と差異はないことから、順位が入れ替わることも考えられる。継続するためにも、学校が魅力ある教育活動を実施していくよう期待する。</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

<p>件名</p>	<p>日程第3 報告事項2 小中一貫教育推進委員会等の設置について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(指導課長) ・ 資料に基づき説明</p> <p>(統括指導主事) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員E) ・ 小中一貫教育推進委員会の委員について、過去、区民公募をしたことはあったか。</p> <p>(委員B) ・ 小中一貫教育推進委員会は、平成26年度のみ活動するのか。</p> <p>(委員D) ・ 小中一貫教育推進委員会の部会である「体制」部会は、どのようなメンバー構成となっているか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(学務課長) ・ 小中一貫教育推進委員会の委員について、初めて小中一貫校を立ち上げた際の委員会の委員も区民公募をしていた。</p> <p>(統括指導主事) ・ 今回、設置する小中一貫教育推進委員会は、平成26年度から平成27年度の2年間を活動予定と考えている。</p> <p>(教育次長) ・ 今回の小中一貫教育推進委員会の設置については、学識経験者とも様々な調整を行う予定である。現在、道徳の教科化や教育委員会制度のあり方など、国の動き方によって左右されることがある。緊急を要するものについては早急に対応していき、国の動きが絡んでくることについては慎重に進めていきたい。今後、教育委員会においても途中経過等を報告し議論を交わしていきたいと考えている。</p> <p>(統括指導主事) ・ 小中一貫教育推進委員会の部会である「体制」部会のメンバーは、実施主体を指導課指導主事、学務課、学識経験者を名城大学の教授で考えている。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

件名	日程第3 報告事項3 都費教職員の任免等に関する内申について（休職）
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。

件名	日程第4 その他 平成26年2月の行事予定について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明 ・ 2月の委員会開催について、25日の定例会は、文教委員会と重複しているため、同日の午後4時開始としたい。
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	2月の教育委員会開催は、2月12日の午後2時、2月25日の午後4時開催とする。

件名	日程第4 その他 平成25年度インフルエンザ様疾患による臨時休業措置状況について
担当課説明等	(学務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承